小学校第２学年　特別活動（学級活動）　指導案

　　　　　　　　　　　 　　日　時　平成25年 月 日（ ）

児　童　紫波町立 小学校　２年生

授業者　Ｔ１　担任

Ｔ２　栄養教諭

１　題材　　　野さいを食べる【学習指導要領学級活動の内容（２）－キ】

２　題材について

　(1)　題材設定の理由

　　　本題材は学習指導要領における特別活動２（２）「日常の生活や学習への適応及び健康安全」のキ「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」を目指したものである。

子どもたちは好き嫌いをしないで食べることが大切であるということはわかっているが、食べ物と健康の関わりについてはまだ理解できていない。給食では特に副菜の残量が多く、献立によっては手をつけない児童もいる。そこで、野菜が成長や健康のために大きな役割を果たしていることを知らせ、健康のために進んで野菜を食べようとする意欲を持たせたいと考え本題材を設定した。

　(2)　指導について

　　　本時では、普段の給食の残菜から苦手な食べ物には野菜が多いことに気づかせる。

　　　野菜の働きについて、血管の模型を使いながらわかりやすく説明する。また１日に必要な野菜の量と実際に見たり、給食で食べる野菜の量とくらべたりすることで給食や家での野菜の食べ方を考え、自分なりの野菜の食べ方を自己決定させたい。

３　本時の学習

(1)　本時のねらい【食育の視点】

○　野菜が体によいことを知り、進んで食べようとする意欲をもつ。【心身の健康】

(2)　本時の展開

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 学習活動・学習内容 | 教師の支援・評価 | | 資　料 | |
| Ｔ１ | Ｔ２ |
| 導  入  5  分 | １　給食の残食結果から野菜が多く残ってくることを知る。  ２　学習課題を確認する。  ３　なぜ海賊が病気になっ  野さいのパワーを知り、どのように食べればよいか考えよう | ○野菜料理が残りがちなことに気づかせる。  ○課題を知らせる。 |  | 残食調べ結果  (料理名と料理の写真)  課題紙板書 | |
| 展  開  30  分 | ３　野菜を残す理由について発表する。    ４　野菜パワーを予想し、働きについて知る。  ５　１日に必要な野菜の量を知る。  　・給食の量と１日の量を比較する。  ６　これからの野菜の食べ方について話し合う。  野さいを毎日食べて元気になろう | ○野菜を残す理由を発表させる。  味が苦手  においが苦手  　食感が苦手  ○これからの野菜の食べ方について話し合わせる。  ・苦手な野菜が出た時どうするか  ・給食の時どうする  ・家での食事はどうするか | ○野菜の働きについて予想させる。  ・病気になりにくい  ・血がきれいになる  ・うんちがでる  ○給食での野菜の使用量と１日の必要量を提示し、比較させる。  ○児童が考えた方法について、良さや修正点、より良い工夫等を伝える。 | 働きカード  血管模型  実物の野菜  (給食・１日) |
| ま  と  め  10  分 | ７　今日の学習でわかったこと  をもとに、これから野菜をどのように食べるか自分の目標を立てる。 | ○　学習内容を振り返らせ、これからの野菜の食べ方について自己決定させ、記入させる。  ○野菜パワーカードに取り組むことを知らせる。 |  | プリント |

４　評価

○　健康を考え、進んで野菜を食べようとする意欲が持てたか。（プリント・野菜パワーカード）

５　板書計画

|  |
| --- |
| やさいのパワーを知り、どのように食べればよいか考えよう    残菜調べの結果  （献立名と写真）  ちがきれいになる  うんちが  でる  かぜをひきにくい    　　　　　　　　　 ○苦手な物が出た時  １日に食べる野菜の量  　苦手な理由 ○給食の時  給食で食べる野菜の量    　 ○家での食事    やさいを毎日食べてげんきになろう |